

ストックワークも巧みに タイム競うスポーツフェスタ

「平」成17年度胆振管内スポーツフェスタ冬期大会」が2月12日登別市で開かれ、虻田をはじめ管内8市町村から97人が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

種目は、大回転で、距離は750m、旗門数は18。少年、青年、壮年など7つの部に別れ大会はスタートしました。

結果各部の総合点で競い合う団体の部で、虻田町が3位に入りました。個人は次のとおり。

▽青年 2位 傳雄介▽成年 1位 奈須川伸也▽壮年 A 1

位 中野良・3位 杉上繁雄



団体3位に輝いた虻田チーム

手編みに挑戦 婦連協「ベスト作り教室」

1 月24日、虻田町婦人団体連絡協議会(青木佐智子会長)が主催する「ベスト作り教室」が、文化交流会館で開かれ、約30人が参加し、手編みのベスト作りに挑戦しました。

手編みが今静かなブームになっていることもあり、自分だけのオリジナルベスト作りを企画。伊達のカルチャーセンターで教えている東山嶺子さんを講師に招いて、手編みの楽しさを実践を通して学びました。

参加した皆さんは、「楽しい」「思っていたより簡単」と言い



手編みのベスト作りに集中する皆さん

ながら、かぎばりと毛糸を上手に操りベストを作成していました。

まちのわだい

迫力満点、攻防を繰広げた 雪合戦大会

第14回全道チビッコ雪合戦大会(主催同実行委員会)が、2月12日洞爺湖温泉小学校のグラウンドで開かれました。



優勝したJ・OCEANチーム

今年、管内はもとより札幌、栗山、京極などから30チームが参加して全道一を競いました。

大会は、10ブロックに分かれて予選リーグを闘い、各ブロックの1位が決勝トーナメントに進出し、優勝を目指しました。

結果、今年も、昨年札幌に奪われた優勝を、虻田小チームJ・OCEANが奪い返し、2年振りに地元で優勝をもたらしました。

寒さふきとばす 冬まつり



寒さに負けずアイス早食い大会に挑戦する子供たち

「2」006洞爺湖温泉冬まつり(主催洞爺湖温泉観光協会)が、2月6日から12日までの7日間、洞爺湖温泉湖畔の特設会場で開催されました。本祭の11日には、恒例となった国際人間ばんばラフティング大会やアイス早食い大会、お菓子まきなどが行われ、町民や観光客を大いに楽しませました。

メインのラフティング大会には、地元をはじめ、札幌や石狩などから7チームが参加。優勝賞金10万円を目指して、タイムを競い合いました。

また締込み姿のチームなど、タイムだけでなくパフォーマンスでも、観客を沸かせていました。